

社会・文化・教育



キーワード：地域福祉、福祉教育、地域と学生の協働的実践

居場所づくりから取り組む地域共生社会

現代社会学部 現代社会学科 講師
上野山 裕士 UENOYAMA Yuji

研究の内容

だれもが支えあい、役割をもって活躍できる地域共生社会の実現に向けて、実践的研究に取り組んでいます。とくに、地域共生社会の実現のためには、年齢、性別、障がいの有無などにかかわらず、多様な価値観、境遇をもつ人びとが交流し、対話する場が必要だと考え、そのような場づくりに地域主体や大学生とともに取り組み、その成果を論文、報告書などの形で発信しています。

これまでに取り組んできたおもな実践的研究は以下のとおりです。

「さまざまな『得意』を生かしたコミュニティスペースづくり」（寝屋川市;令和4年～現在）

「子どもの居場所づくりから取り組む地域共生社会」（交野市;令和5年～現在）

「地区社協を中心とする地域の特性を生かした地域福祉活動の展開」（和歌山市;令和3年～現在）

「学校へいけない・いけない子たちの居場所づくり」（有田市;令和3年～現在）

「『道掃除』からひろがる地域のつながりづくり」（紀美野町;平成30年～現在）

「ボランティアグループの魅力発信と担い手育成に向けた取り組み」（八幡市;令和5年～現在）



道掃除の
様子



大学生と
実施した
スマホ
相談会



コミュニティ
スペースでの
イベント運営

産学連携・社会連携へのアピールポイント

実践的研究のほか、各種委員会（地域福祉活動計画策定委員会のほか、福祉教育推進委員会、介護保険事業計画策定委員会、みんなのまち基本条例検証委員会、学校運営協議会など）の委員やインタビュー調査を通じた報告書作成（「居場所づくりからはじめる地域づくり」（枚方市;令和3年）など）にも取り組んでいます。

研究者総覧（上野山裕士）

URL : https://gyoseki.setsunan.ac.jp/html/200000229_ja.html

